



代表質問 市民クラブ すばる
高木 広和 議員

令和8年度予算・財政
(長期財政計画) について

問 新しいビジョンの実現に向けて、新しく「市長直轄組織」を設置することによりどのような効果を期待しているのか

答 市政全体の方向性を統一し、効率的な政策案・実行体制が整えられ、高島市の発展に貢献できるものと考えております

問 令和8年度予算についての見解を伺う。

答 市長

令和8年度一般会計予算案は、骨格予算と政策予算を合わせた令和7年度予算と比較すると、約10億7,000万円の減となりました。これは令和7年度に大きな事業が終了し、臨時的な経費が減少したことが主な要因であります。

令和8年度予算については、人件費や扶助費等の義務的経費の増加に加え、経常的経費についても令和7年度か

ら減少しておらず、厳しい財政状況が改善されたものではないと捉えています。

問 新しいビジョンについての進捗や考えを伺う。

答 市長

市政運営にあたって掲げております「若者と子育て世代を引きつけ、人口減少に打ち勝つまちづくり」と「健康で生涯活躍できる安心安全なまちづくり」という2つの大きな政策目標を達成するため、各部署や関係機関、関係者との協議を進めてきたところで

あり、令和8年4月から新たに、今議会でご提案申し上げております、市長直轄組織である「官民共創本部」を設置し、組織体制を整えるとともに、関係機関や関係者と実施に向けた協議を更に進めてまいりたいと考えています。

問 新しいビジョンの実現に向けて、新しく「市長直轄組織」を設置することによりどのような効果を期待しているのか市長の考えを伺う。

答 市長

官民共創における市政全体の方向性の統一や各部署間の調整機能を担うものであり、市長である自身が直接、指揮を取ることで、市政全体の方向性を統一し、効率的な政策案・実行体制が整えられ、高島市の発展に貢献できるものと考えています。



問 長期財政計画についての見解を伺う。

答 市長

今回改訂した長期財政計画では、現状の財政運営を行う必要があることから、公共施設の再編をはじめとする行財政改革を着実に進めなければ、令和12年度末には、財政調整基金の残高がなくなり、収支不足になることが見込まれるなど、大変厳しい財政状況であると認識しており、公共施設の再編および事務事業の見直しなど、行財政改革を強力に進める必要があると考えています。

問 不安定な世界情勢の中で、物価の上昇について、どのような見解が併せて伺う。

答 市長

原油をはじめとする資源価格が上昇することにより、物件費への影響が大きくなると考えており、さらに資材費等が高騰することにより投資的経費への影響も考えられま

す。物価高騰が長期化したしますと、さまざまなものに波及していくことが予想されることから、今後の歳出削減についての取り組みを一層強化する必要があると考えます。



問 公共施設の具体的な目標設定や各事務事業の事業レビューなどを実施する必要があると思うが見解を伺う。

答 市長

公共施設再編計画において、面積を10年間で20%削減することを目標としており、どの施設を、いつどのようにならなければならないのかについて

は、今後、庁内で議論をしながら利用者や関係団体および近隣住民の皆様と話し合いをさせていただき、合意形成に努めてまいりたいと考えています。

事務事業の見直しについては、事業や補助金等の歳出見直しなど、毎年度テーマを定め、総務省および地方公共団体金融機構の共同事業を活用するなど、外部の有識者の専門的な視点からの事務事業等の見直しを進めることで、長期財政計画の歳出削減を進めたいと考えています。



問 行財政改革を進めるには、市民の皆様が現在の市の財政状況を知っていただき、行財政改革の取り組みについて理解をいただく必要があるのではないかと考えるが市長の考えを伺う。

答 市長

現時点での将来の財政見通しを市民のみなさまにお示し、市の財政状況を少しでもご理解いただけるように長期財政計画の改訂を行いました。持続可能な行財政運営を行うには、行財政改革は避けられないものであり、市民の皆さまに改革の必要性を丁寧に説明し、ご理解を得られるよう努め、公共施設の再編や、事務事業の見直しを進めていきたいと考えています。

その他の質問

高島市民病院の運営と地域医療について